

農作業事故の当事者が語る……

# 気づかないことを 気づかせる指導

経験の浅い従事者が  
果樹の剪定中に……

家族経営のナシ農家で、**剪定枝の陰**になって**左手の小指を剪定バサミで部分切断**する事故が発生しました。別の法人では、経営者の妻が自分の身長よりも高い位置にある枝を剪定していた際、**剪定枝が頭部に落下**して額に軽傷を負いました。同園では剪定バサミによる切創事故も起きており、いずれもエア式から**電動式の充電型剪定バサミに変更**するとともに、経験の浅い従事者には作業時に見回り注意点を指導。「剪定中は左手を出さない」といった**基礎的な安全指導も徹底**し、再発防止に努めているとのこと。

安全にできるだろう！ ×  
危険かもしれない！ ○

「経験の浅い従事者は、ベテランから見ると危ないことを平気で行う」と果樹園経営者。作業現場を巡回してよく観察し、注意点を理解させることが重要だといえます。専門家も「**経験値の大小により危険への接近度が変わる**」と指摘。

特に様々な場面で行われる刈払機などは身近な機械でもあるため安易に使用してしまい、ベテラン作業員も「安全にできるだろう」と注意をスルーしがち。**自分基準ではなく従事者基準まで目線を下げ、年に一度は農業機械の安全講習会を行う**などして事故を防ぎましょう。草刈りを地域住民や法人外の人担当している場合は、**地域の人も含めた講習会を開催**することも重要です。



## 経験の浅い従事者が 危険に気づくために

- 経験値が低い従事者は気づかないうちに危険に接近しがち。経験値が高い作業員も「安全にできるだろう」と思い込みがち。
- 自分目線ではなく作業員の目線まで下げて指導。
- 作業現場を巡回し、よく観察して注意点をしっかり理解してもらう。

## 対策のポイント

- 剪定バサミをエア式から電動の充電式に変更。
- 剪定作業時は厚手のゴム手袋、防寒長靴、ゴーグルを着用し、首からはホイッスルぶら下げ。
- 草刈り作業時はヘルメット、耳カバー、マスクを着用。
- 外部の人や地域住民も含めた安全講習会を実施。



## 安全管理と事故防止対策

- 滑りやすく長い法面は途中で足場や小段を設ける。
- 作業開始前に作業場所を確認し、構造物や切り株、針金、石、空き缶などが無いことを点検。
- 刈払機に定められた作業方向に従い、逆方向や往復刈り、不安定な状態などで作業を行わない。
- 飛散物防護カバーなどを装備し、ゴーグルやフェイスガードを着用。
- チップソーの刃はJISマークが刻印してある商品を使う。
- 朝露や雨などで作業面が濡れているときは作業を行わない。
- 作業初心者には危険認識の教育と実地指導を徹底。
- ヘルメット、ゴーグル・フェイスガード、耳栓、防振手袋、腕抜き、すね当て、スパイク靴などの防護具を着用する。



水田の土手を草刈り中……  
急な勾配の法面で刈払機を使用中、傾斜で足を滑らせ転倒、右肩と背中を強打。

作業場所の事前確認をしないまま……  
刈払機で草刈りをしていたところ、地面から跳ね飛んできた鋼線が右下腿のすねに刺さり貫通。

刈り刃がキックバックを起し自分の方向へ……  
背負い式刈払機で水田畔の草刈り中、進入路脇の盛り土に刈り刃が当たった瞬間、自分の方向に跳ね返ってキックバックを起し、左足を切る。

慣れた場所なので、安全装置・ゴーグルなしで……  
刈り残した道路わきの草を短時間で刈り終えようと、安全装置・ゴーグルをせずに草刈り作業を行ったところ、右目にチップソーのチップが2個飛び込み失明。

回転している刃の上に足が落ち……  
竿部分が長い刈払機で雨上がりの法面を草刈り中、法面を滑り落ちて回転刃の上に足が落下。小指部分を切創。

経験の浅い従事者が法面で草刈り中……  
刈払機の回転刃が土のかたまりで跳ね、左足の中指を切る。

チップが右手首に刺さり……  
排水路の法面を草刈り中、隠れていた異物に刃が当たり、欠け散ったチップが右手首に貫入。